

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		町会・自治会活動支援及び協力委託			款	3	項	1	目	1	事業	7	整理番号	56			
担当部課名		区民生活部地域課			係名	地域係			連絡先電話番号	3763			昨年度整理番号	91 枝番号			
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等	(1) 杉並区町会・自治会専用掲示板設置等補助金交付要綱 (2) 杉並区町会・自治会館建設等補助金交付要綱									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	町会・自治会活動を支援することにより、良好な地域社会形成を実現します。自治会館や掲示板の設置費用を補助することにより、活動拠点の確保や情報交換・発信の手段が得られます。加入促進活動を支援することで、加入する区民が増え町会・自治会活動が活性化します。 ちらしの回覧、公共設備の損壊通報や各種統計調査への協力等、生活に密着した業務を町会・自治会に委託することにより、きめ細かい公共サービスの提供が可能になります。					活動指標名(式)	(1) 町会・自治会掲示板設置等助成数 (2) 委託契約を結んだ町会・自治会数									
	町会・自治会館等の建設等助成 杉並区町会連合会連絡調整 町会加入促進 地域活性化事業助成 区政協力委託	成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標														
	成果指標名(1)	町会・自治会加入率(代)															
	算定式・指標の説明等	町会・自治会加入世帯 ÷ 区内世帯数 (毎年1月1日現在)															
	成果指標名(2)	町会・自治会掲示板助成による寄与率															
	算定式・指標の説明等	掲示板助成件数 ÷ 掲示板総数 × 100															
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		22年度						
指標	活動指標(1)	基	79		50		83		50		70	50	140.0	140.0			
	活動指標(2)	町会	160		161		160		161		160	161	99.4	99.4			
	成果指標(1)	%	53		57		53		57		52	55	87.3	91.9			
	成果指標(2)	%	33		40		38		45		42	45	84.8	94.2			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	42,806		46,140		45,040		54,599		52,171		76,141	20年度予算執行率%	95.6		
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0		0		特記事項				
	(内)委託費	千円	40,134		41,183		40,431		41,625		40,778		42,667	平成20年度に杉並区町会連合会創立50周年記念事業に対し補助金を交付しました 平成20年度から、町会・自治会が「より良い地域社会実現」を目的として行う新規事業(又は従来よりレベルアップさせた事業)に対し、地域活性化事業助成金の交付を開始しました。			
	職員数(常勤 非常勤)	人	8.02	0.00	8.02	0.00	8.02	0.00	8.51	0.00	10.02	0.00	10.02	0.00			
	人件費	千円	72,661		73,303		73,303		77,016		90,681		90,681				
	(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0				
	総事業費 + +	千円	115,467		119,443		118,343		131,615		142,852		166,822				
	単位あたりコスト (-) ÷	円	1,461,608		2,388,860		1,425,819		2,632,300		2,040,743		3,336,440				
	財源	千円	0		0		0		0		0		0				
	受益者負担分	千円	0		0		0		0		0		0				
国からの補助金等	千円	0		0		0		0		0		0					
都からの補助金等	千円	/		/		/		/		/		/					
その他の補助金等	千円	/		/		/		/		/		/					
特定財源計 + + +	千円	0		0		0		0		0		0					
差引:一般財源 -	千円	115,467		119,443		118,343		131,615		142,852		166,822					
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 56

20年度 の事業 実施 状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単 位	事業費(千円)	
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	町会・自治会専用掲示板設置等助成				1,098
	杉並区町会連合会連絡調整	17	地区		3,785
	町会加入促進				1,696
	区政協力委託(委託等)	160	町会		40,767
	その他()				4,825
(2)事業実績	町会・自治会が「より良い地域社会実現」を目的として行う新規事業(又は従来よりレベルアップさせた事業)を支援するため、10町会に対し総額2,311千円の地域活性化事業助成金を交付しました。また、町会・自治会加入者の増加を図るため、加入促進を呼びかけるパンフレットを作成し、杉並区に転入した方に配布するとともに、啓発グッズとしてウェットティッシュ・クリアファイルを作成・配布しました。				

事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	町会加入率は横ばい傾向にあります。また、町会役員の高齢化や固定化、後継者難が顕著化しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区政協力委託に基づくポスター掲示やチラシの回覧などの依頼件数が増加傾向にあり、「算定額の見直しにより委託金の増額等を考えてほしい」との意見が寄せられています。また、委託内容について、負担感を訴える声もあります。
	今後の予測	町会役員の後継者難の傾向が続いており、将来的に活動が停滞又は先細りをする町会・自治会が増加する可能性があります。定年退職により地域に戻ってくる団塊の世代については、未だ町会・自治会活動への参加が顕在化しておらず、今後、加入促進と併せて若年層から団塊の世代の活動参加が、町会の存続を賭けた課題となることが予測されます。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	町会・自治会活動を支援することで、地域住民の交流を深めることに寄与しています。自治会館は、地域の会合だけでなく葬祭などにも利用され、地域福祉の向上に貢献しています。掲示板は、町会未加入者も恩恵を受けることができるため、地域での情報交換、伝達に寄与しています。区政協力委託については、低コストで地域全体の生活環境維持、区が行う各種事業への協力、区政情報の周知などが図られ、また、町会・自治会活動の活性化の一助となっています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	若年層をはじめ多様な世代に町会・自治会活動への参画を促す事業に対して助成をし、活動を活性化していきます。また、地域活動を行う様々な他団体と、相互連携・補充し合うことで、より活発な活動へ繋げ、地域の活性化を進めていきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	地域活性化事業助成や掲示板設置費助成では、町会の負担も既に大きいため、現在の助成額は妥当であると考えられます。区政協力委託については、受益者負担を伴う性質の事業ではありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	区政協力委託契約は平成12年度から始まった委託契約で、委託業務については各町会に浸透しています。また、区からの協力依頼が増加傾向にあることから、委託事項や経費の削減は難しい状況にあります。

協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題
地域活性化事業助成は、新規事業や既存事業のレベルアップを対象としています。申請件数が助成予定件数を上回る等、町会・自治会の新たな取組に対する意欲を十分に喚起できたと考えられます。この成果を一過性のものとせず、町会・自治会活動の活性化につなげていくことが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成20年度は10町会に対し、町会・自治会が「より良い地域社会実現」を目的として行う新規事業(又は従来よりレベルアップさせた事業)に対し交付する地域活性化事業助成を行いました。この内、積極的な情報発信を主眼に地域の現役世代が中心となり町会ホームページを立ち上げた町会と、餅つき文化継承を目的にDVD、CDを作成した町会については、杉並区町会連合会の理事会で成果を報告し、他町会への勧奨をしていただきました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域活性化事業助成については、より使いやすく効果的な事業に助成を行うことにより、地域の活性化を進めていきます。また、地域集会施設等運営協議会と連携し、他地域団体との協働やネットワーク作りを行えるよう働きかけを行う必要があり、それを支援する組織の早急な整備が必要です	
22年度方針	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 町会・自治会活動を活性化させるために、町会・自治会自身の問題意識と主体的な行動を如何に喚起するかが大きな課題です。	
	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
(2)理由 当面、地域活性化事業助成の効果を検証しつつ、より効率的・効果的な方法を模索する必要があります。		

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	地域住民活動推進	款	3	項	1	目	1	事業	8	整理番号	57		
担当部課名	区民生活部地域課	係名	地域係			連絡先電話番号	3767			昨年度整理番号	92	枝番号	
上位施策No・施策名	67 地域活動の推進							予算事業区分					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 被災した世帯、事業者、財産所有者等 ポスター掲出等の区政協力委託を受けた町会・自治会等 地域集会施設等運営協議会					根拠法令等	(1) 杉並区災害復旧対策実施要綱 (2) 杉並区掲示板に掲示する掲示物取扱要領					
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	被災者に対する被災証明書の発行、見舞金の配布、各種復興支援策への連携を行うことにより、速やかな被災者の救済を実現します。区からのお知らせを区民に広く周知します。また、区民相互の情報交換の場を提供します。運営協議会活動を支援することで、地域住民のふれあいと交流を進めるとともに、地域住民が自ら地域問題の解決に取り組む自治型コミュニティの形成を目指します。					活動指標名(式)	(1) 区掲示板設置基数 (2) 運営協議会集団事業及び学級講座参加者数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区掲示板及び区民専用掲示板の新設、維持管理 地域集会施設等運営協議会の支援 小規模災害被害調査					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	(代) 区掲示板へのポスター掲出枚数				
						算定式・指標の説明等		成果指標名(2)	(代) 事業1回あたりの参加者数				
						算定式・指標の説明等	事業参加者総数 ÷ 事業実施回数						
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	22年度	の達成率%	の達成率%	
指標	活動指標(1)	基	432	530	432	530	432	460	530	81.5	81.5		
	活動指標(2)	人	45,083	46,000	45,585	46,000	43,819	46,000	46,000	95.3	95.3		
	成果指標(1)	枚	35,923	43,370	38,725	43,370	31,704	35,000	40,000	79.3	73.1		
	成果指標(2)	人	80	82	82	82	79	82	82	96.3	96.3		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	170,289	167,186	157,596	169,142	158,450	163,987	20年度予算執行率% 93.7				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 全ての区掲示板及び区民専用掲示板をステンレス製に建替えるため、平成17年10月にNPO法人と建替え事業に関するPFI協定を締結しました。この協定により、既存掲示板の撤去及び新設、維持管理に係る費用はNPO法人側の負担とし、この内、維持管理経費については区は1基あたり年間三万円を上限として一部負担することとしました。				
	(内) 委託費	千円	39,420	33,662	30,771	34,986	32,176	34,271					
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.10 0.00	5.10 0.00	5.10 0.00	5.40 0.00	4.26 0.00	4.26					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	千円	46,206	46,614	46,614	48,870	38,553				38,553	
		(内) 非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	216,495	213,800	204,210	218,012	197,003	202,540					
	単位あたりコスト (-) ÷	円	501,146	403,396	472,708	411,343	456,025	440,304					
	財源	受益者負担分	千円	1,619	1,700	1,935	2,000	2,483				2,000	
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0						
その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0						
特定財源計 + + +		千円	1,619	1,700	1,935	2,000	2,483	2,000					
差引: 一般財源 -	千円	214,876	212,100	202,275	216,012	194,520	200,540						
受益者負担比率 ÷	%	0.7	0.8	0.9	0.9	1.3	1.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 57

	内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	被災者情報管理システム維持管理		2,719
		区掲示板の維持管理		3,477
		地域集会施設等運営協議会補助金		120,284
		その他()		31,970
(2)事業実績	災害発生時に区職員が被害状況調査を行い、調査内容の登録や被災証明書の発行を行うための被災者情報管理システムについて、メンテナンスやカスタマイズ作業(レベルアップのためのシステム改修)を実施しました。老朽化する区保有の屋外掲示板の全基建替え事業をPFI手法により平成17年度から進めており、建替え済み掲示板の清掃・点検や建替え未了掲示板の修繕を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成17年9月4日の集中豪雨被害の教訓から、迅速な被害調査と情報管理が成せる態勢整備の重要性が認識されました。その後も水害が発生しており、ヒートアイランド化の進行と相まって都市型水害発災の危険性は増えています。運営協議会創立当時、人間関係の希薄化や地域共同体の崩壊が指摘されていました。また、多様化する公共サービスへのニーズに対し、行政だけでは解決できないきめ細かいサービスの提供主体として、コミュニティ形成の必要性が説かれていました。コミュニティ形成を期待されて誕生した運営協議会は「ふれあいと交流」を目的とした事業展開を続けてきましたが、もうひとつの目的である「地域の問題は地域住民自らが解決する自治型コミュニティ形成」に向けた取り組みが期待されています。老朽化が進む区掲示板を全基建替えるため、平成17年10月にPFI手法による建替え事業が始まりましたが、約4割の建替えが終わったものの事業者側の資金難により事業そのものが停滞しています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民専用掲示板について、掲示物が多く掲出スペースが不足しているため、基数を増やしてほしいとの要望があります。また、老朽化した掲示板の建替えが進まず、不満の声が多数寄せられています。杉並区への移住希望者から、過去の水害発生状況についての照会が多数寄せられており、被災状況などの情報提供に対する期待は非常に大きいといえます。		
	今後の予測	都市部のヒートアイランド化が一層進行し、集中豪雨発生の危険度が増すことが想定されます。一方、東京都が行う河川や下水道の災害対策工事が進行し、時間当たり50ミリまでの雨に対する災害予防態勢が整備されていきます。運営協議会を始めとした様々な地域活動団体が地域の諸課題解決を目指すうえで、構成員の高齢化等により不足するマンパワーを団体相互に補充・連携していく必要性が増していくと思われます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	災害に対する即応態勢の整備は、地域住民の区に対する信頼性向上に貢献しています。運営協議会が開催する講座・教室は、地域コミュニティ形成という本来の役割と必ずしも合致しない内容も含まれており、民間カルチャーセンターの代替になってしまう傾向も見受けられるが、区民ニーズ・集客力ともに高いといえます。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	水害被害調査態勢が整備されており、今後は実地訓練やシステム操作講習会を行うことにより、質的向上を図ります。運営協議会事業を単なる趣味・教養分野だけでなく、地域課題への対応などを含め事業の目的を明確にすることで、ふれあいと交流から一歩踏み込んだ地域の課題への対応力を増すことができます。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	運営協議会事業参加者にとって、受益度の高い講座・教室にとっては、材料費や施設使用料等、施設の維持管理や事業の継続性を確保するために相応の金額を参加費とする等の工夫が考えられます。		
(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	運営協議会事業参加費の充当等により、一定程度、事業費を節減できます。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(3)へ		
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	掲示板建替え事業の停滞により既存掲示板の老朽化が一層進行しており、地域での情報交換の場として十分に機能しなくなってきています。PFI手法による事業協定の見直し等、事業スキーム全体の変更を行う必要性があります。運営協議会と他地域活動団体の連携を進めるために、支援組織としての事務局の組織改変・機能拡充を図る必要があります。			

改善・見直しの方向(中長)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成20年に運営協議会の会長(7名)、事務局長(3名)、地域課長とメンバーとする「地域集会施設等運営協議会のあり方検討委員会」を設置し、役割や事業のあり方等全般に渡る見直し検討を実施しました。その報告書の主旨を尊重する形で、21年度の補助金については、他地域活動団体との協働・ネットワーク形勢を視野に、既存事業枠を減らし新たに「協働事業」枠を設けました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 様々な地域活動団体には、各々、役員の高齢化・固定化、後継者難、資金難、課題解決に向けた専門知識の不足、地域にどんなニーズがあるかといった情報の不足といった弱点を抱えています。そこで、団体間で補充・連携し活動を活性化させるため、各地域団体からの推薦や公募による委員で構成される運営協議会が中心となりネットワーク化できるよう支援を行います。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	運営協議会の自主性を阻害しないよう配慮しながら進めていく必要があります。								
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	他地域活動団体との協働推進・ネットワーク形成は、その性質上徐々に進展していくものと見込まれます。平成21年度補助金で新設した協働事業予算枠について効果検証を行う等、既存の事業枠の中で改善を行うことが望ましいと考えられます。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共施設予約システム維持管理			款	3	項	1	目	1	事業	12	整理番号	61		
担当部課名		区民生活部地域課			係名	地域施設係			連絡先電話番号	765			昨年度整理番号	96 枝番号		
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区公共施設予約システムの利用に関する要綱 (2)								
	施設の利用者及び利用団体															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	簡単、便利に施設利用申込を行えるシステム運用を行う。抽選申込等の機能により、利用者に公平な施設利用機会を提供する。					活動指標名(式)	(1) システムアクセス数 (2)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	公共施設予約受付 インターネット、電話、携帯サイトから公共施設の抽選申込み、予約を受け付ける。 システム運用 抽選、予約等集会施設予約に必要な機能を公平・円滑・安全に利用者に提供するためのシステム運営を行う。					成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
成果指標名(1)																
算定式・指標の説明等																
成果指標名(2)																
算定式・指標の説明等																
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
		実績	計画	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	回	691,834	689,099	604,418	689,355	604,389	604,403	622,536	97.1	87.7					
	活動指標(2)															
	成果指標(1)															
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円	64,164	65,094	58,932	56,890	52,884	107,365	20年度予算執行率% 93.0							
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0				特記事項							
	(内)委託費	千円	51,659	22,502	27,853	39,915	38,268	87,847	平成22年度にシステムの入替を検討した結果、システムの入替ではなく、機器の入替の実施となりました。このため活動指標については、機能強化によるアクセス増を見込んでいた部分を除いた以下の見直しを実施します。 アクセス数 = 原則として現状維持。 ただし特定日のシステム遅延等の改善により3%の増を見込みます。 (平成19年度アクセス数(実績) + 平成20年度アクセス数(実績)) ÷ 2 × 1.03 = 622536(件) 21年度については (平成19年度アクセス数(実績) + 平成20年度アクセス数(実績)) ÷ 2 = 604403(件)とする。							
	職員数(常勤 非常勤)	人	5.02 0.00	5.00 1.00	5.00 1.00	5.00 2.00	5.76 2.00	5.13 2.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	45,481	45,700	45,700	45,250	52,128				46,427				
		(内)非常勤職員分	千円	0	2,770	2,770	5,600	5,600				5,600				
	総事業費 + +	千円	109,645	113,564	107,402	107,740	110,612	159,392								
	単位あたりコスト (-) ÷	円	158	165	178	156	183	264								
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0										
		国からの補助金等	千円	0	0	0										
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -	千円	109,645	113,564	107,402	107,740	110,612	159,392									
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 61

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	公共施設予約システム運用業務委託	
		公共施設予約システム概要設計業務委託		1,980
		公共施設予約システムに係る端末機器等の賃貸借(スポーツ施設等)		10,517
		公共施設予約システムに係る端末機器等の賃貸借(集会施設)		849
		その他()		13,727
(2)事業実績	21年度開館した座・高円寺や上荻窪会議室の和室を洋室化改装にともなうシステムの設定変更及び座・高円寺への利用者端末設置等を行いました。また、平成22年度の機器入替を控え、入替の範囲、機器の構成等について導入のための概要設計を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	平成15年(11月利用分)から集会施設、平成17年(6月利用分)からはスポーツ施設についてさきかねっとシステムによる予約受付を開始しました。	空き枠申し込み時のシステム応答の遅延、空き枠確認からの申込み、複数日の一括予約等の機能追加等について要望があります。	抽選、予約の申込みについて、パソコンからのインターネット、携帯電話からのインターネット、自動音声応答サービス、施設設置のタッチパネル端末の内、パソコン及び携帯電話からのインターネットサービスの利用割合が増加していくと予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	施設申込みの利便性について時間的・空間的な制約を減らし、多様な利用者層の施設利用機会を担保することで、地域の文化・コミュニティ活動等が活発になる環境を提供を実現しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	公平な施設利用の機会を保障し、利用者の満足度を高めるために、必要となるコストと比較しながら制度や機能の改善・見直しを行っていきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益者である利用者の直接負担を想定する内容が本事業経費では、存在しないため見直しの余地はありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	音声ネットワークを光通信サービスの利用に切り替える等、現状のシステム構成を見直すことで経常経費を下げる余地があります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	システム稼働から6年が経過し、システムとして安定的に稼働している、利用者からの満足の声も得ることができています。ただし、毎月、先着順である空き枠申し込みの開始日にシステムの遅延が発生し、苦情の声を頂いています。また機器が導入から7年目を迎え、機器の保守期間を迎えているため機器の交換が必要となっています。このため平成21年度は、機器の交換を実施する際に、特定日の遅延の解消を行うとともに、制度・機能の見直しも行い、限られた費用の中で、より利便性の高いシステムを実現していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年度予算については、22年度保障期間を終える機器を交換するために、一次経費としてシステム設計、データ移行、利用者端末のメンテナンス費用、経常経費として機器の賃貸借の増を計上しています。(機器については、現在は機器を再リースしているため賃借料は平成20年度比では増となります。)							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成21年度の機器の入替にあわせ空き枠申し込み時のシステム遅延を解消し、施設利用制度の見直しについても可能なものについて対応します。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	平成21年度予算では、機器の入替費用のみ経費として配当されているため、システム改修を伴う見直しを平成21年度に実施することは困難な状況です。この状況の中、既存の固定経費である通信費等についても見直し、費用を捻出し、これらの見直しに可能な限り対応していきます。また、21年度以降も継続して、利用しやすい仕組み、制度について検討していきます。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	● 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	平成21年度に実施する機器入替の一次経費が平成22年度は不要となるため平成21年度に比較し減となります。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並会館の維持管理			款	3	項	1	目	3	事業	2	整理番号	70		
担当部課名	区民生活部管理課			係名	庶務係			連絡先電話番号	3754			昨年度整理番号	79	枝番号	
上位施策No・施策名	67 地域活動の推進												予算事業区分		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	42	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			杉並区在住在勤在学者、区内事業者及び団体、その他利用を希望する者		根拠法令等	(1) 杉並区立杉並会館条例・同施行規則 (2) 杉並区行政財産使用料条例・同施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 杉並会館の適切な維持管理・運営により、区民の地域活動の場を提供する。			活動指標名(式)		(1) 利用回数(宴会室3室、集会室3室) (2) 利用人数(宴会室3室、集会室3室)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 会館施設(宴会室、集会室)を地域住民等の利用に供するため、会館施設の維持管理を行う。			成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 利用人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 稼働率 算定式・指標の説明等 利用回数 ÷ 利用可能枠								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度		
指標	活動指標(1)		回	2,592	2,600	2,369	2,600	2,546	2,700	2,900	87.8	97.9			
	活動指標(2)		人	49,156	50,000	47,681	53,000	52,102	53,000	53,000	98.3	98.3			
	成果指標(1)		人	49,156	50,000	47,681	53,000	52,102	53,000	53,000	98.3	98.3			
	成果指標(2)		%	47	47	45	48	46	48	50	92.4	96.3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	74,688	60,415	59,551	70,143	70,141	61,492	20年度予算執行率%		100.0			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		千円	56,615	44,316	44,100	44,079	44,078	44,534						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.83 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.78 0.00	0.80 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	7,520	7,312	7,312	7,240	7,059	7,240						
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	82,208	67,727	66,863	77,383	77,200	68,732						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	31,716	26,049	28,224	29,763	30,322	25,456						
	財源	受益者負担分		千円	9,590	9,761	9,504	9,694	9,561	9,635					
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		千円				0	0	0					
その他の補助金等		千円				0	0	0							
特定財源計 + + +		千円	9,590	9,761	9,504	9,694	9,561	9,635							
差引:一般財源 -		千円	72,618	57,966	57,359	67,689	67,639	59,097							
受益者負担比率 ÷		%	11.7	14.4	14.2	12.5	12.4	14.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 70

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み <small>(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目</small>	建物総合管理委託				30,038
	施設維持管理(光熱水費ほか)				16,298
	受付案内業務委託				13,457
	ターボ冷凍機の修理				9,765
	その他(機械警備委託、電気設備保守委託ほか)				583
(2)事業実績	杉並会館は、杉並区の公共施設の中では、唯一、芙蓉、末広、孔雀の3つの宴会室を備えており、年間約27,000人の利用があります。また、3つの集会室も年間約25,000人の利用があり、稼働率も約80%と高く、多くの方に利用されています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和42年開館後40年が経過しました。平成10年には結婚式場機能を廃止、展示室、多目的室等を設置しました。平成15年4月に展示室の一部をアニメ資料室に転用、平成16年4月に展示室、多目的室などを廃止し、平成17年3月にアニメーションミュージアムをオープンしました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。
	今後の予測	杉並会館は、建築から40年が過ぎ、施設の老朽化が進んでいます。そのため、建物本体だけでなく、電気、給排水、空気調和、昇降機等の設備についても、大規模な改修が必要になると考えられています。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	杉並区の公共施設の中では、宴会室機能をもった施設は他にはなく、また、集会室の需要も多いことから、区民の地域活動の拠点の一つとして、地域のコミュニティ形成に貢献しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	今後、継続して施設を使用するためには経年劣化による設備の改修や耐震補強が必要であり、その経費が増大する見込みです。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	施設使用料や地域団体登録使用料制度の減額措置の見直しにより、受益者負担を見直す余地があります。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	施設維持管理を一括委託するなどを既にも実施し経費削減に努めています。老朽化による設備改修費の増大が見込まれますが、古い設備を更新することによるエネルギーコストダウン、仕様変更等による委託費削減などの方法が考えられます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	杉並会館は年間52000人もの利用者数があり、また、区内に宴会機能を持った公共施設が他にないことから、多くの方に利用されています。しかし、施設の老朽化が著しく、今後、事業をいつまで継続可能か否かを含め、費用対効果等総合的に勘案し検討していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	あり方検討の結果、大規模修繕の実施は見送り、継続して使用するための空調ターボ冷凍機の修理を行いました。また、電気設備保守を建物総合管理に含め、同一業者に委託したことにより、経費削減を図ることができました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	前年度の検討結果として、大規模修繕を行わずに現施設の継続使用の方向性が出されています。今後も地域活動の場として、より利用を促進していくため、区ホームページと事業者ホームページのリンクや事業者の利用促進活動等、普及啓発に取り組んでいきます。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	建物が閉鎖等になった場合、利用者への代替施設の提案など対応が必要です。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	あり方検討の方向性として、大規模修繕の実施を見送っていますが、臨時的、緊急的に修繕が必要になった場合は対応が必要になります。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		地域集会施設等維持管理			款	3	項	1	目	3	事業	4	整理番号	72			
担当部課名		区民生活部地域課			係名	地域施設係			連絡先電話番号	3765			昨年度整理番号	97 枝番号			
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設利用者及び利用団体			根拠法令等	(1) 地方自治法第225条、第244条、第244条の2 (2) 杉並区立地域区民センター及び集会所条例、同施行規則								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 地域住民の活動の拠点である地域区民センターや区民集会所、区民会館において、施設利用が活発に行われるよう、施設の維持管理、運営を適切に行う。			活動指標名(式)			(1) 有料利用者数(トレーニング室を除く) (2) 施設利用回数(トレーニング室を除く)									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 施設管理 地域区民センターや区民集会所、区民会館の施設の維持管理を行う。 貸し出し業務 集会室・和室等の室場を、区民や区民団体等に貸し出す。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) 施設利用率 算定式・指標の説明等 利用回数 ÷ 利用可能回数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する	計画に対する				
			実績		計画		実績		計画		22年度	20年度の達成率%	20年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	1,160,876	1,101,950	1,150,032	1,101,860	1,167,458	1,101,860	1,101,860	106.0	106.0					
	活動指標(2)		回	161,215		160,506		169,370									
	成果指標(1)		%	67		67	-	67				#VALUE!					
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	769,519	964,720	791,398	863,063	811,101	868,415	20年度予算執行率% 94.0							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0		特記事項							
	(内)委託費		千円	509,683	676,255	518,427	564,068	546,781	579,396								
	職員数(常勤 非常勤)		人	9.17 0.00	9.17 0.00	9.17 0.00	7.01 0.00	10.03 2.00	10.03 2.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	83,080	83,814	83,814	63,441	90,772	90,772								
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	5,600	5,600								
	総事業費 ++		千円	852,599	1,048,534	875,212	926,504	907,473	964,787								
	単位あたりコスト (-)÷		円	734	952	761	841	777	876								
	財源	受益者負担分		千円	131,085	123,319	132,269	128,243	136,327	130,722							
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等		千円				0	0								
その他の補助金等		千円				33,406	33,247	33,314									
特定財源計 +++		千円	131,085	123,319	132,269	161,649	169,574	164,036									
差引:一般財源 -		千円	721,514	925,215	742,943	764,855	737,899	800,751									
受益者負担比率 ÷		%	15.4	11.8	15.1	13.8	15.0	13.5									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 72

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	地域区民センター7施設維持運営業務委託				320,630
	区民集会所10施設維持運営業務委託				154,432
	区民会館4施設維持管理業務委託				43,207
	その他 ()				292,832
(2)事業実績	・これまで、貸出備品等の買い替えについては各施設ごとに故障後対応としていましたが、利用者の利便性向上や予算の平準化を図るためには、全施設で計画的に買い替えを実施する必要があります。公共の施設として、公費で用意すべき備品の数や仕様の基準を定めるため、検討を行っています。(21年度も引き続き検討) ・19年度の3センターに引き続き、20年度より、2センター(井草・永福和泉)の建物総合管理業務委託契約について長期継続契約を導入しました。				

事業開始当初から現在までの変化	平成14、15年度にかけて運営協議会による運営から、民間事業者への業務委託に変更しました。19年度には契約方式の見直しをおこない、建物総合管理委託について長期継続契約を導入しました。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	受託業者職員の接客の向上や施設整備(和室の洋室化、防音設備のある室場の増)・備品の買い替えの要望がありました。また、行政使用等の使用により、一般使用が取りづらいという意見をいただいています。
今後の予測	施設や設備の老朽化に伴い、大規模修繕、計画修繕の必要性が増すものと考えられます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	多様で自主的な地域住民活動の場として定着し、地域活動の推進を施設的な側面から支えています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	長期継続契約を導入することにより、継続的な視点にたった施設の総合管理を実現しつつも、定期的な業者選定を行うことで適正な業者を選定し、利用者満足度を高め、施設利用率の向上を目指します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	適正な施設利用料に向けて、見直す余地があります。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	ISOの指針に基づき、光熱水費等省エネの一層の推進や計画的な修繕等により増大する施設コストを低減させていきます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	地域区民センター・区民集会所については、窓口案内業務や清掃業務をはじめとして、ほぼすべての業務について民間事業者へ委託を行っています。全体的に施設や設備の老朽化が進んでおり、大規模改修を順次計画的に行うとともに、的確な修繕を行う必要があります。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ・さざんかねっとシステム改正(22年1月～3月予定)を目標として、貸し出し時間枠やキャンセル期間など、施設の適正利用について検討を行いました。 ・2センター(井草・永福和泉)において、長期継続契約を導入しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・施設の適正利用について20年度から検討を行っていますが、システムの改修が必要な事項については、システム改正に間に合わせるため、21年6月中に方向性を定めます。 ・区民会館運営について、区民センター・区民集会所と同様の民間委託実施について、区民サービス、費用対効果等の観点から検討を行います。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 19年度に締結した長期継続契約(3センター)は、21年度で契約期間が満了します。22年度については、3センターの建物総合管理業務委託について入札に付するため、設計価格での予算計上が必要となります。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区民事務所維持管理		款	3	項	1	目	3	事業	5	整理番号	73		
担当部課名		区民生活部地域課		係名	地域施設係			連絡先電話番号	3765		昨年度整理番号	98		枝番号	
上位施策No・施策名		67 地域活動の推進		予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区行政財産使用料条例、同施行規則 (2) 杉並区民事務所会議室の目的外使用及び使用料減免取扱要綱						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用に際して、利用者が快適な状態で施設が使用できるように維持管理する。 施設を良好な状態に保ち、利用率の向上につながる事を目的とする。				活動指標名(式) (1) 区民事務所及び会議室の建物面積 (2)									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 維持管理 区民事務所及び区民事務所会議室を良好な状態に保つ。 貸出業務 区民事務所会議室を目的外使用の会議室として円滑に貸し出す。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 施設の利用率 算定式・指標の説明等 利用回数 ÷ 利用可能回数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度					
指標	活動指標(1)		m ²	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	7,913	100.0	100.0		
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	54	55	58	55	53	55	55	55	96.4	96.4		
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,354	69,706	53,506	68,708	55,988	62,797	20年度予算執行率%		81.5			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0					特記事項				
	(内) 委託費		千円	26,846	35,082	28,287	33,761	29,357	34,515						
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.47 0.00	4.47 0.00	4.47 0.00	4.18 0.00	4.26 0.00	4.26 0.00						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	千円	40,498	40,856	40,856	37,829	38,553	38,553						
		(内) 非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	90,852	110,562	94,362	106,537	94,541	101,350						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	11,481	13,972	11,925	13,464	11,948	12,808						
	財源	受益者負担分		千円	17,241	16,212	20,741	17,323	19,923	17,323					
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		千円											
その他の補助金等		千円													
特定財源計 + + +		千円	17,241	16,212	20,741	17,323	19,923	17,323							
差引: 一般財源 -		千円	73,611	94,350	73,621	89,214	74,618	84,027							
受益者負担比率 ÷		%	19.0	14.7	22.0	16.3	21.1	17.1							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 73

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	区民事務所維持管理(区民事務所4所、分室2所、会議室18所)	24	所	47,739
		区民事務所運営管理(夜間パトロール委託)	12	月	5,439
		点検及び鍵回収	1276	回	1,291
	その他 ()	1,519			
(2)事業実績	平成17年9月より実施している区民事務所会議室の夜間巡回パトロールにおいて、平成20年度には、地域住民からの要望等に応じてパトロール経路等を迅速・柔軟に変更するなど対応し、会議室利用者の施設適正利用を促進しました。また、その効果について各地域活動係と連絡を密にし、改善状況等の情報共有を図るようにしました。				

事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、17出張所が7区民事務所、2分室、1サービスコーナーに統廃合されました。廃止した旧出張所は目的外利用の会議室として利用することになり、15年度末までに5施設を多目的集会機能を持つ会議室へと改修を行いました。平成18年4月から高円寺会議室を区民集会所として開所しました。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設に職員が常駐していないため、近隣住民からの利用マナーについての苦情や設備のトラブル発生時の即時対応ができないという指摘があります。また、土日祝日利用では使用料の支払いや鍵の受領手続きを事前に行う必要があり、不便であるという意見をいただいています。
今後の予測	施設の老朽化が進み大規模修繕及び設備修繕の増加が予想されます。利用マナーについては苦情やトラブルが起きないように使用に当たっての注意喚起を行っていきます。

	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	身近な地域集会施設としてコミュニティ活動の場として活用されています。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	施設の老朽化により施設維持のための修繕費用が必要ですが、目的外施設という性格上、十分に確保されていません。 現在施設は無人管理で、利便性の向上やセキュリティの問題については、有人管理や警備を充実させる等の対策が必要ですが、新たな経費が必要になります。 利便性を高めより安全に管理していくため、現在無人となっている会議室について、地域区民センター・区民集会所と一体化した運営委託を検討します。
(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	適正な施設利用料に向けて、見直す余地があります。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在施設は無人管理で、警備も夜間1箇所10分程度と最低限の管理で運用されています。また、施設が老朽化し今後修繕費用が必要となることが予想されるため、これ以上のコストの低下は難しいと考えます。

(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

評価と課題	旧出張所後施設を空き施設とせず、区民、その他の利用者の活動の場として、低コストの利用が実現できています。一方目的外利用施設としての無人による管理は、快適な利用環境やセキュリティ上の課題があり、区民集会所等との一体管理化を図るなど管理方法の検討が必要です。
-------	---

	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
改善・見直しの方向(中長)	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 老朽化した施設を円滑に管理していくため、計画的に改修を行いました。 利用者や近隣住民から理解の得られる施設運用を引き続き検討しています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設面では計画的な改修を行い、満足度の高い施設を維持していきます。目的外使用の施設として貸し出していますが、区民集会所と同様の貸出施設として位置付ける方向で検討します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 老朽化していく施設や設備を維持していくには、費用負担の増加が伴います。このため、施設利用料金の適正化等の検討を行い、新たな利用者負担に対する理解を区民及び利用者に向けていく必要があります。	
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由 目的外使用施設の利用方針について区の考えが定まるまでは、施設の老朽化に対応しながら課題の整理を行い、現状のサービス維持を行っていきます。	